

吉野川市

議会だより

お城を彩る
秋の花

秋風が心地良い
季節だね!!



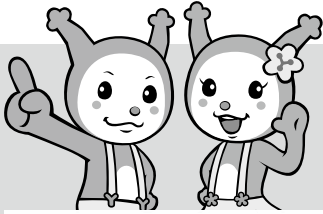
吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ピッピー



議会HPは
こちらから確認!

令和4年9月議会定例会

歳入・歳出決算	2
委員会審査	4
審議結果一覧	8
代表質問	10
一般質問	12
委員会室紹介	15

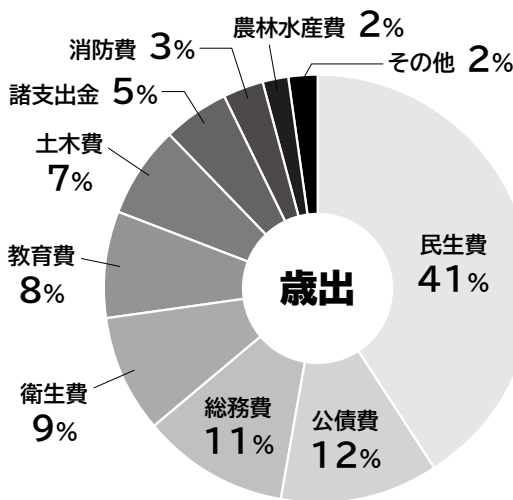


令和3年度決算を認定しました (2021年度)

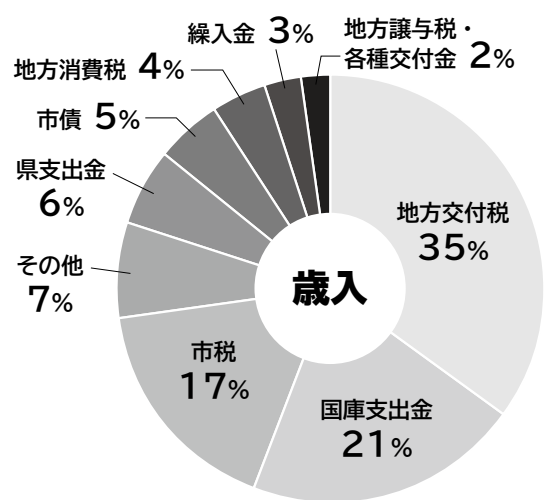
令和3年度一般会計および特別会計等の決算議案については、本会議で議案審議を行ったあと、決算特別委員会に付託され9月7日に議案審査を行い、9月20日の本会議で各決算議案は原案どおりに認定されました。

一 般 会 計

歳出合計 222億5,193万円



歳入合計 231億5,867万円



特別会計・公営企業会計

特別会計

(国民健康保険事業ほか2会計)

歳入合計 111億6,552万円

歳出合計 110億125万円

公営企業会計

(水道事業および下水道会計)

事業収益 18億3,940万円

事業費用 17億8,636万円

決算認定ってなんだろう？

地方自治法第233条では、市長は決算書類に監査委員の審査意見を付けて、次の通常予算を審議する会議までに、議会の認定に付さなければならないとされています。

この規定に基づき、令和3年度の各会計の決算認定などの議案が9月定例会に提出されました。

なお、公営企業会計は、地方公営企業法第30条に基づく決算認定となります。



【一般会計の使い道について】

令和3年度当初予算からピックアップして決算状況を紹介します。



子育て・教育の満足度向上

- 山瀬小学校屋内運動場改築事業 ●
決算額 3億6,175万8千円



移住定住・にぎわい創出の魅力度向上

- 都市再生整備事業 ●
決算額 1億5,596万3千円



暮らし・福祉の満足度向上

- マイナンバーカード普及促進
交付円滑化事業 ●
決算額 2,430万1千円



持続可能な地域づくりと市役所の変革

- 浄化槽汚泥等投入事業 ●
決算額 5,196万円



安心・安全なまちづくりの拡大

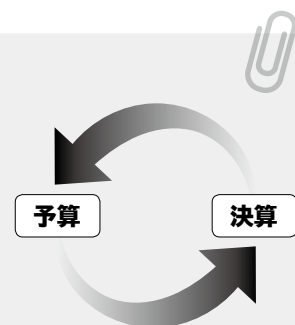
- 消費生活センター事業 ●
決算額 440万6千円

予算と決算の関係について

市の予算は使って終わりではありません。

市長は、予算をどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会はその内容をチェックします。決算審議で、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点の指摘や要望をします。

来年度の予算に生かすことにより、決算審査の結果が今後の予算につながっていくのです。



決算特別委員会

◇市長提出議案6件を審査

●令和3年度吉野川市一般会計歳入歳出決算認定について

●日本フネン市民プラザおよびヨコタ上桜スポーツグラウンドの指定管理料のうち、1割を超える本社管理費の内容は。また、200万円近くの余剰金繰入金支出を認めた理由は。

●鴨島公民館の指定管理料について、指定管理料の約13.4%の本社管理費および200万円を超える法人会計繰入金の詳細は。

答 本社管理費とは、施設の管理運営に係る直接業務費以外で、本社における施設の管理に要する経費である。
日本フネン市民プラザおよびヨコタ上桜グラウンドにおける余剰金繰入金支出ならびに鴨島公民館における法人会計繰入金は、指定管理料において指定管理者の経営努力等により発生した支出金の余剰金である。

余剰金とは、指定管理者の利益であり、指定管理者が持つノウハウ等の活用によって経費削減が期待できる部分もあり、指定管理者制度で認められている項目である。

問 中山間地域交流拠点推進事業について、施設利用の状況と利用人数の予定に対しての実績は。

答 たねのやのオープン年となった令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが「たねいち」等の定期的なイベントの集客効果もあり、令和3年度の目標利用者数を大きく上回る7101人の利用者となっている。



たねいち開催風景

問 コンビニ交付サービスについての利用実績は。

答 昨年11月26日から開始したコンビニ交付サービスは、最も

多いのが住民票の写し394件、次いで印鑑登録証明書269件、戸籍の謄抄本136件、所得課税証明書25件、戸籍の附票の写し24件となっており、合計848件の利用があった。

●令和3年度吉野川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 国民健康保険財政調整基金が増えているが、その主要要因は。

答 国民健康保険税の税率改定による税収の増および県に納めている国民健康保険事業費納付金の減少が考えられる。

●令和3年度吉野川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

問 後期高齢者医療広域連合納付金の内訳は。

答 本市は後期高齢者医療広域連合へ納付金として6億6856万円3329円を納付している。内訳として、被保険者から徴収した保険料4億7679万800円と低所得者の保険料軽

減に補填する基盤安定負担金として1億9177万2529円である。

●令和3年度吉野川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 10億4471万1000円の徴収内訳は。また、他市が行っている12段階で徴収した場合の試算金額は。

答 令和3年度介護保険料の徴収内訳は、年金から引き落とされる特別徴収が、9億5810万4700円、納付書により納めていただく普通徴収が8226万6900円、過年度の滞納繰越分が433万9400円の合計10億4471万1000円となっている。

他市が行っている所得段階12段階での試算金額は、令和3年度賦課において、現在の本市の9段階を12段階に変更し試算を行ったところ、約520万円の調定増となる結果となった。

●令和3年度吉野川市水道事業会計決算認定について

問 建設改良事業について、老朽管の更新は管が漏水したことによる改良なのか、もしくは計画的に改良しているのか。

また、計画的に老朽管の更新ができていた箇所は、件数は、

答 老朽管更新は年次計画により行っているが、漏水が度重なるなど、緊急を要する場合に急遽行うこともある。

また、老朽管布設替工事については、10件程度となっている。



老朽管布設替工事

●令和3年度吉野川市下水道事業会計決算認定について

問 公営企業法適用から、現在までの一般会計からの繰入金金の推移は。また、浄化槽汚泥投入事業による収益は。

答 公営企業法適用から現在までの一般会計からの繰入金金の推移については、公営企業

法適用初年度の平成31年度決算額は、一般会計繰入金8億6735万9000円であった。そこからの推移としては、令和2年度決算額で7億8537万3000円、令和3年度決算額で7億2905万9000円、令和4年度予算額で7億449万9000円となっており、各年度対前年度比で毎年減額で推移している。

浄化槽汚泥投入事業による収益については、浄化槽汚泥等の受入量8847.405t、受け入れによる有収水量26万5422m³に対して、令和3年度決算額投入事業の負担金として3981万3280円の収益となっている。

総務常任委員会

◆市長提出議案5件を審査

●吉野川市藤岡敏孝こども未来基金条例制定について

問 基金の具体的な用途についてどう考えているのか。

答 現時点では具体的な活用事業が決まっていなかったため、条例の設置目的については包括的な内容となっている。藤岡氏とご相談の中で基金を設置して活用する。

●吉野川市職員の育児休業等に関

する条例の一部を改正する条例制定について

問 本条例改正における適用の拡大範囲は。また、条例にある特定職の定義とは。

答 適用範囲については、これまで同様に職員の子が3歳に達する日まで育児休業することができ、両親ともに取得可能となっている。特定職は、会計年度任用職員のことである。

●令和4年度吉野川市一般会計補正予算(第3号)について

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い道について、どのような事業として活用するのか。

答 1つ目は、電気料金等を含む物価高騰の影響を受けている放課後児童クラブおよび私立こども園等に対して支給する「学童・保育施設物価高騰対策事業」、2つ目は、市内経済の活性化を図るために1人あたり5000円のクーポン券を配布する「おえクーポン事業」、3つ目は、営農活動を支援するため、個人5万円、法人10万円の給付金を支給する「吉野川市つづける農業応援事業」、4つ目は、市内の小中学校遊具を整備、更新する「学校

遊具整備事業」、5つ目は、10月から小・中学校の給食費を改定するとともに今年度については価格高騰分を補填し、保護者の負担軽減を図る「学校給食費据置事業」、以上の5つの事業を実施し、市民生活や地域経済活動を支援する。

●吉野川市新ごみ処理施設整備・運営事業建設工事請負契約の締結について

問 今回の請負契約が1社1グループのみの応札であり、競争原理が働いていないように思われるが。

答 本事業の発注方式は、総合評価方式ではあるが、一般競争入札であることから入札参加資格を満たしている者であれば、誰でも参加できるものである。本市では、事業者選定に係る各検討段階から、清掃メーカーに対する意向調査を実施した。

最終的には入札公告により事業概要、入札参加資格等を事前に明らかにしており、入札参加意欲のある者の入札参加機会は確保されていると考えている。

問 これまでの地元説明会等において、地元自治会から業者に対して、ご要望・ご意見等はあったのか。

答

さまざまなお要望やご意見をいただいた中、多かったのが排ガス、通行車両に伴う公害や交通安全に対する不安などがあった。

また、データの公開を要望されるもの、長期にわたる運営となることから修繕や維持管理を定期的にしつかり実施していくこと、地元貢献などがあった。

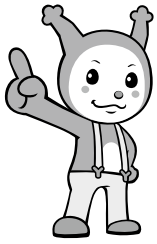
問

地元からのご意見等に対して、市としては当該事業者に対して、どのような対応をさせるのか。

答

新ごみ処理施設については、15年8月9日にわたる運営事業であることから、運営を行うにあたり、周辺住民の皆さまに安心していただくために公害基準を設けることなど、地元の皆さまとの取り決めを行うことは非常に大事なことであると考えている。

地元にお住まいの方のご意見を伺える場を設けるなど事業者に指導していきたい。



新ごみ処理施設完成予想図

文教厚生常任委員会

◇市長提出議案3件を審査

●令和4年度吉野川市一般会計補正予算(第3号)について

問

病児病後保育の利用者が減ったとのことだが、前年度比でどの程度減ったのか。また、主な要因は。

答

前年度から111人減った。新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用を控えられるたり、病院が施設を閉鎖したりしたことが要因である。

問

新型コロナウイルスワクチン接種事業返還金については、集団接種会場などでの費用が減ったためか。

答

ワクチン接種には、集団接種会場における医師の派遣費用、個別医療機関におけるワクチン1本あたりの費用がかかるが、集団接種会場での接種数が増えたことで全体の費用が減ったためである。



集団接種会場

●吉野川市教育集会所条例の一部を改正する条例制定について

問

八坂教育集会所を廃止することのことだが、他の教育集会場の利用状況は。

答

人権学習で、川島教育集会所は学島小学校4名、川島中学校6名、西麻植教育集会所は、鴨島第一中学校3名、西麻植小学校3名、神島教育集会所は、鴨島第一中学校3名、鴨島小学校

1名。湯立会館を利用している山川町分は、山川中学校4名、山瀬小学校9名で人権学習会を行っている。



八坂教育集会所

●令和4年度吉野川市一般会計補正予算(第3号)について

問

擁壁工事で、擁壁に打ち込むアンカーの長さはおのくらい必要なのか。

答

アンカー工の施工延長は21.35mの擁壁であり、3mごとの上下2段階施工でアンカー工を施行する。

長さは、上段が26.1m、下段が23.3mを計画している。

問

擁壁にクラックが入るなどしている箇所は、他にもたくさんあると思うが、そこは



久宗・桑内線法面对策工事

産業建設常任委員会

問 直さずに段差もないように見える長い擁壁の一部のみを直すのか。
答 当該箇所前後と比較して、この擁壁のみ前に倒れてくるようなズレが生じている。

◇市長提出議案3件を審査

●令和4年度吉野川市一般会計補正予算（第3号）について

問 久宗・桑内線法面对策工事の進捗状況と完成見込みは。

答 山川町馬見尾地区における久宗・桑内線法面对策工事の執行については、道路修繕の既決予算を活用して早期発注を行った。来年3月を完成工期とし、今後本格的に対策工事を実施する。

問 道路橋梁維持管理費について、補正予算がどのような形で使われるのか。

答 道路橋梁維持費補正予算については、承認いただければ地域の方から多数要望をいただいているアスファルト舗装の打ち換えや側溝蓋の床版打ち換え等を実施する。

実施場所の選定については、損傷度合い・緊急性・交通量等を総合的に勘案し、効率的かつ効果的な執行を行いたい。



アスファルト舗装の補修状況

問 補修要望を含む現状の把握件数と予算によって執行できる件数は。

答 例年約200件の修繕要望をいただいております、年々

要望件数は増加傾向である。

昨年度末までに未対応の箇所が、累計730件に上っており、厳しい財政状況の中、対応に遅れが生じているのが現状である。

そのため、今後コスト削減に向け、効率的で効果的な修繕方法を検討し、できるだけ多くの要望箇所が対応できるように努めたい。

問 つづける農業応援給付金時期や予定件数は。

答 10月から申請受付予定で、12月中に支払いを終えたいと考えている。

件数については、前年の農業所得の申告をされている方が対象で、個人640件、法人30件となっており、金額については、3500万円の予算額となっている。

人事案件

◇次の人事案件が提出され同意しました。

●公平委員会委員

藤井伊佐子氏（鴨島町中島）

●固定資産評価審査委員会委員

佐藤 榮一氏（美郷字土井ノ奥）
佐野 勝代氏（鴨島町西麻植）

大塚 敏明氏（鴨島町中島）
伊勢 英利氏（山川町宮北）

喜多由美子氏（川島町川島）

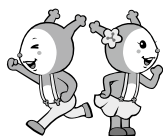
●人権擁護委員

鶴田 茂樹氏（鴨島町森藤）
犬伏 司氏（川島町栗村）

委員会構成

●決算特別委員会

委員長 谷田 憲一
副委員長 細井 英輔
委員 岸田 益雄
河野 利英
栗原 五男
岡田 晋
川村 洋樹
岡田 光男



令和4年9月議会定例会 審議結果一覧

	議 案 名		結 果
報告	報第14号	令和3年度吉野川市財政の健全化判断比率について	報 告
	報第15号	令和3年度吉野川市公営企業会計の資金不足比率について	報 告
専決	報第16号	専決処分の報告について（和解について）	報 告
	報第17号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	報 告
	報第18号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	報 告
	報第19号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	報 告
決算	議第38号	令和3年度吉野川市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定
	議第39号	令和3年度吉野川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
	議第40号	令和3年度吉野川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
	議第41号	令和3年度吉野川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
	議第42号	令和3年度吉野川市水道事業会計決算認定について	原案認定
	議第43号	令和3年度吉野川市下水道事業会計決算認定について	原案認定
条例	議第44号	吉野川市藤岡敏孝こども未来基金条例制定について	原案可決
	議第45号	吉野川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第46号	吉野川市教育集会所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
予算	議第47号	令和4年度吉野川市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決
	議第48号	令和4年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
	議第49号	令和4年度吉野川市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
	議第60号	令和4年度吉野川市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
その他	議第50号	吉野川市新ごみ処理施設整備・運営事業建設工事請負契約の締結について	原案可決
	議第51号	和解について	原案可決
	議第52号	市道路線の認定について	原案可決
	議第53号	市道路線の変更について	原案可決
	議第54号	公平委員会委員の選任について	同 意
	議第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
	議第56号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
	議第57号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
	議第58号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
	議第59号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
	諮第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意
	諮第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意

議会のうごき（7月～8月）

7 / 8
徳島中央広域連合議会臨時会

11
議会広報特別委員会

20
ICTタブレット導入検討会

8 / 4
徳島県中央部開発促進期成同盟会、飯尾川改修促進期成同盟会、飯尾川・江川改修期成会合同通常総会

8
西条大橋沿線並びに国道318号改良促進期成会総会

18
中央広域環境施設組合議会臨時会

22
国道193号倉羅トンネル開さく促進期成同盟会総会

議会運営委員会
全員協議会

「こころ」が聞きたい

代表・一般質問

※誌面の都合により要旨のみを掲載しています。
詳しくは、市議会ホームページの会議録をご覧ください。
(二次元コードを読み取れば、会議録が確認できます。)



9月議会定例会では8名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

岡田 晋 (吉野川政友会いろは)

- 吉野川市の財政見直しについて
- 徳島県地域医療構想について
- 飯尾川の治水について
- 選挙の投票率の向上について
- 公園等施設の活用について
- SDGs 12リユースの取り組みについて

細井 英輔 (薫風会)

- 新ごみ処理施設整備・運営事業について
- マイナンバーカードについて
- パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について
- 子育て支援センター「ちびっこプラザ」について

一般質問

岸田 益雄

- 児童の通学時の携行品について
- 学校給食について
- サニタリーボックスの設置について
- 指定管理者制度について

栗原 五男

- 経済活動支援について
- 市の公共施設の植栽について
- 指定管理者制度の見直しについて
- 江川・鴨島公園について
- 耕作放棄地について
- インターハイについて

岡田 光男

- 木造住宅の耐震化について
- 第7波のコロナ対策について
- 投票率の向上について
- 災害時の支援体制について
- 学校給食費の無償化について

近久 寛

- 向麻山公園について
- 不登校の児童・生徒への対応について

相原 一永

- 福祉の充実について
- 孤独・孤立問題への取り組みについて
- 防災対策について

谷田 憲二

- 今後増え続ける空き家について
- 鳥獣害対策について



岡田

すすむ

吉野川政友会いろは

問

徳島病院の「病床機能再編計画」と本市の意見は

答

市長自らが「徳島病院の存続」について強く要望活動を行う

問

「徳島県地域医療構想調
整会議」で徳島病院の入
院病床を300床から236床
へと64床減らす「病床機能再編
計画」について審議が行われ、
地域住民や徳島病院職員の意見
を聞く会が3回開催されたが、
病床削減はやむなしとなった。

本市として徳島病院の医療・
雇用・経済・地域活性化面での
重要性と位置づけをどう考えて
いるのか。また、会議に委員と
して出席した副市長の発言と今
後の市長の存続要望活動は。

徳島病院は地域において
大切な役割を担っている。

答

調整会議において、副市長は
「地域住民との意思疎通を図り
将来にわたって徳島病院が存続
し続けられるよう取り組んでい
くこと」を表明した。

市長は、自ら直接「厚生労働
省や「国立病院機構」に対し「徳
島病院の存続」について強く要
望活動を行う。

【その他の質問】

問

これまで大雨や台風が来
るたびに飯尾川近くの住
民は被害の心配をしており1日
も早く改修し生活の安心・安全
の確保を図る必要がある。つい
ては、改修に向けた用地先行取
得の要望を県に行っては。

答

飯尾川流域の治水対策
の重要性と「安全・安心
なまちづくりの拡大」は市長の
選挙公約でもあり、飯尾川をは
じめ市内の各河川の治水対策は
本市の最重要課題である。「飯
尾川改修期成会」において一定
の方向性が出された場合、市長
が先頭に立ち石井町とも連携し
ながら具体的な提案を直接県に
要望を行う。

問

本市の財政状況は改善し
ているものの、今後も予
断を許さない厳しい財政運営が
続くようだが、市長の財政運営
の今後の取り組みについては。

答

財政危機の中「財政の健
全化」と「本市の活性化」
に創意と工夫で取り組むと同時
に、現在コロナ禍により市民生
活や地域経済活動に大きな影響
が生じている。その影響を最小
限にとどめるため、必要な支援
策を展開する。



徳島病院

問

選挙の投票率向上のため
期日前投票所をシヨッピ
ングセンターに設けたり投票済
証明書を発行し若者の投票意欲
や関心を高める努力をしては。

答

啓発を進め、誰もが気軽
に行ける投票所の設置や
投票済証明書の取り組みについ
て選挙管理委員会で協議する。

問

川島城のテニスコートの
使用申込みをインター
ネットでできるようにしては。
また、上桜森林公園をオート
キャンプのできる有料のRV
パークとして活用しては。

答

川島城テニスコートも、
本市ホームページの「施
設予約Webサイト」でできる
よう早急に進める。上桜森林公
園のRVパーク利用は、研究し
有料施設化に向けて検討する。

問

SDGs12の取り組みと
して市内のこども園・小
中学校・近隣高校の制服等のリ
ユース事業を本市がリーダ
シップをとり、社協や公民館等
に協力を呼びかけては。

答

制服のリユースをはじめ
SDGs12の取り組みを
各学校や地区公民館に働きかけ、
私立こども園にもリユースの取
り組みを呼びかける。職員から
の提案等も受け入れ、実現可能
な仕組み作りの構築を考える。



ほそい えいすけ
細井英輔
薫風会

問

新ごみ処理施設整備・運営事業の稼働に向け市が目指していくところは

答

本市の貴重な財源として未来の世代に引き継いでいけるようしっかりと取り組んでいく

問

新ごみ処理施設の整備・運営について、落札者の提案内容で特徴があったものは、また、本事業は市単独であることから市単独を生かした利点

答

新ごみ処理施設は、市民生活に直結し、停滞させることができない。また、地元をはじめ市民に信頼されるものであるためには、安心・安全で安定的に処理ができる施設であるべきと考えるが、新施設における整備・運用についての具体的な内容は、「住みよい美しいまちと豊かな自然が調和した親しみある施設」を全体コンセプトに、参画企業の豊富な実績や知見が生かされ、本市が求めた要求水準書を上回る提案があった。運営においても地元企業の活用、さらに地元雇用計画の提案など本事業の基本方針に沿った提案がされており、整備検討委員会においても高く評価されている。

ている。

市単独を生かした利点としては、廃棄物の削減、資源化等に係る新たな取り組みについて、市独自の取り組みが試験的なものも含め、速やかに実施することが可能であることや、ごみピットを活用した災害廃棄物の受入対策、経済的な波及効果があると考えている。

安心・安全・安定的に処理できる施設については、排ガスの連続測定、ホームページを利用した情報の発信、専門技術者を含む適正な人員配置、専門教育などが提案されている。

また、本市担当職員によるマニュアルに沿ったモニタリング、第三者専門機関による施設の精密検査等を定期的に実施し、民間事業者だけでなく市も責任を持って長期にわたる維持管理を実施することで、安心・安全で安定した運営体制を構築し、市民の皆さまに信頼される

施設であり続けることを目指していく。

問

新ごみ処理施設は、本市最大の事業であり、今後長年にわたり次世代や、その次の世代まで大切に使い続けていかななくてはいけないと考える。

答

今後、市が目指す方針やビジョン等についての考えは、受託事業者とともに、市民目線に立ち、環境面・経済面・災害対応・地域の活性化なども考慮し、さまざまな視点に目を向けながら、本市の貴重な財産として、未来の世代に引き継いでいけるよう、しっかりと取り組んでいきたい。

【その他の質問】

問

マイナンバーカードの普及に向けた今後の取り組みは。

答

マイナンバーカード親子教室の開催などを行い、一層の普及促進に努める。

問

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度開始後の状況は。

答

本年に入り、2組の宣誓が行われた。広報やホームページなどを活用することとはもとより、チラシや手引きを作成し周知に努めている。

問

ファミリーサポートセンター事業の利用内容に、家事支援を追加しサービスの充実を図っては。

答

今後、利用者の状況や意見を踏まえ、現行の委託事業者とも協議を行いながら、事業実施に向けて検討していく。



新ごみ処理施設建設予定地

※ごみピット：収集等してきたごみを一時的にためておく場所



岸田 益雄

答

問

「置き勉」等で児童生徒の通学時の負担を軽減できないか
 教育効果や児童生徒の健康面にも留意しながら適切に対応する

問

児童生徒のランドセルの重さ、中身を含め平均約4kgあり、多くの子どもたちがランドセルを重く感じている。中には通学時に肩や腰・背中を訴えている子どももいる。ランドセル自体は軽量化されてきているが、中身は年々重くなっている。教科書のページ数も毎年増え、新たに道徳や外国語の教科も増えた。また、タブレット端末、水筒、着替え等も加わるとランドセルも含めて約6kgにもなる。

小学校1年生の男子の平均体重は22kg、女子21.5kgだが、体重が22kgの児童が6kgもの荷物を背負って通学しているのは、体重66kgの大人が18kgの荷物を背負って通勤するのと変わらないのではないか。
 本市の児童生徒の通学時の荷物の総重量は。また、学校教材の近年の変化と「置き勉」についての対応は。

答

本市の一小学校の1年生を対象に調査したところ、ランドセル等を含む荷物の総重量の平均は約4.7kgであり、給食袋やタブレット端末等が加わる月曜日の重量がもっとも重く、総重量は約5.7kgであった。

使用する教材の近年の変化については、道徳と外国語が教科として新設され、指導内容の増加に伴い、教科書や副読本のページ数が増えている。

「置き勉」への対応については、具体的な留意事項を各学校に再通知するとともに、特にタブレット端末持ち帰り時の携行品の配慮について、校長会で改めて協議し、教育効果や児童生徒の健康面にも留意しながら、適切に対応していく。

【その他の質問】

物価高騰による学校給食費改定の詳細は。

今年度は原材料高騰分を補填するため、保護者負担は同じ。

男子トイレにも尿漏れパッドや大人用おむつ用にサンタリーボックスを設置しては。

まずは市役所の男性用個室トイレへの設置を進めていく。

光熱水費等の物価高騰による指定管理料の見直しは。

価格高騰の影響を調査し、適切に対応したい。



榎原 五男

答

問

観光コンテンツ開発事業の支援は
 実行委員会負担分135万円に対し50万円を上限に支援する

問

ヨコタコーポレーションが開発した電動三輪バイク「トゥクトゥク」が観光自動車として好評である。

本市の若い経営者グループ「kitamu」のメンバーがトゥクトゥクを活用し、美郷および山川地区の観光スポットなどを巡るツアー・コンテンツを開発するが、市はどのような支援をしていくのか。

拡大した過疎地域の活性化が急務であること、アフターコロナを見据えた観光振興の重要性や地元企業が開発する電動三輪バイクの活用を計画する新規性、話題性などが、本市の目指す過疎地域振興と合致するものであり、実行委員会負担分135万円に対し、50万円を上限に助成する。

【その他の質問】

第2弾のプレミアム商品券の現状と、おえくぼの額を5000円にした根拠は。

プレミアム商品券は、3万5000冊に対し4万8781冊の申込みがあったため、1人1冊は当選、2冊目は抽選を行った。前回の「おえくぼ」では1人3000円、18歳以下の方には3000円上乗せしたが、今回は上乗せは行わず1人5000円とした。

指定管理者制度の見直しを進めるべきと思うが。

ゼロベースで総合的に検証、見直しを行うことで、さらなる経費の削減につなげたい。

江川・鴨島公園を総合的に整備し直す考えは。

クラウドファンディングなどを含め、有利な財源を活用した整備について検討したい。

市内の耕作放棄地の面積と対応は。

山間部を含め約670ヘクタールあり、吉野川市農地情報登録制度と農地バンク事業の2本立てで対応している。

インターハイの評価と反省点は。

全国の大規模団体との直接の協議や調整の困難さ、連携の重要性を実感した。

重要性を実感した。

重要性を実感した。

※1 置き勉：教科書や道具などの荷物を学校に置いておくこと
 ※2 サンタリーボックス：トイレの個室ごとに設置されている小さめのごみ箱



谷田 憲二

問

老朽化した空き家が放置されると、倒壊の危険、犯罪の誘発など周囲に悪影響を及ぼす。

空き家の所有者が遠方に住んでおり管理意識が低い場合など、管理不全に陥りやすくなっているが、本市の空き家の状況は。

空き家総数は、平成27年度で1184戸。調査以降も増加傾向が続き、約200戸余りが新たな空き家となっている。

また、不適切管理により苦情が多く、件数は年間50件を超えている。

空き家は、個人資産であり、原則、市が直接対応はできないことから、所有者に連絡を行うなど、粘り強く指導を行っている。

空き家バンクに積極的に取り組む修繕費やごみの撤去費を出している自治体もあるが、本市での利用状況と他の組織との連携、空き家に住んでいたただける方に対しての助成制度の考えは。

また、今後増え続ける空き家についての取り組みは。

空き家実態調査により利用可能な空き家となった所有者の

空き家バンクの利用状況と今後の空き家対策は

空き家の登録が少ない状況であり助成制度等強化策を検討する

答

方へ空き家バンクの登録依頼を行ったが登録者が少なく、これまでの登録は4戸のみで、そのうち2戸は利用者が決まり有効利用されている。

登録の少ない状況を改善し、市外からの移住を促進するため、本年度に制度の強化を行う。他の組織との連携、助成制度も含めて、強化策の一つとして検討している。

今後は、空き家バンクの充実を図ることを中心に進め、税金通知、自治会長などで啓発チラシを配布するなどの取り組みも検討する。

【その他の質問】

鳥獣害対策について、本市では、平地においても被害が年々

増えており、安全・安心な住環境を取り戻すべきと考えるが、今後の対策は。

個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理の3本柱を平行して実施することにより、相乗効果が得られることから、今後この3

本柱の取り組みを継続し、鳥獣被害の軽減に努める。



岡田 光男

問

県による南海トラフ地震の被害想定では、本市は全壊2100棟、半壊4700棟、死者80人と予想されている。

木造住宅の耐震化率の現状と推移は。また、耐震改修支援事業の年間計画件数に対しての申込件数と耐震シエルト設置支援事業の状況は。

平成16年度より改修支援事業を実施し、毎年5戸から30戸程度の実績があり、耐震化率は51.8%から63.1%と向上している。

本年度は計画件数10件に対し、現時点で24件の申込みがあり、14件は来年度以降の実施となる。本年度と同程度であれば、来年度中の実施が一部困難な状況となっている。

耐震シエルト設置支援事業は、平成28年度から令和3年度までに15件の実績があり、本年度は計画件数2件に対し、1件の申込みがあった。

令和2年に18件あった耐震改修支援事業の計画数が令和3年4年にそれぞれ10件と減少しているが、早急に増やすべきではないか。

来年度は現時点の申込み件数全てを実施できるよう取り組み

木造耐震改修計画件数を増やすべきではないか

来年度は現時点での申込件数は実施できるよう取り組みたい

答

み、他事業での申込数に応じて、事業内容変更手続きを国・県と協議し1件でも多く実施できるよう努める。

第7波のコロナ感染について市の対策は。

引き続き感染防止対策の徹底と情報発信に努めたい。

期日前投票所を川島に増やしては。また、投票立会人に高校生を採用しては。

選挙管理委員会において検討したい。学校の協力もいただきながら、若者の起用に努めたい。

特に避難が困難な方への支援体制は。

支援実施のため、自主防災組織・自治会・社協・福祉施設等と連携し安全な避難体制を築きたい。

県内では2自治体が学校給食を無償化としている。本市でも無償化ができないか。

教育委員会では、老朽化した施設が多く苦慮しており、現状は給食費の無償化は困難である。



ちか ひさ 近久 ひろし 寛

問

不登校の児童生徒の現状と対応およびつつじ学級増設の考えは

適正な教育環境の整備増設の必要性について検討する

問 近年、不登校の児童生徒が増加傾向にある。本市の不登校の現状と対応は。また、本市にはさまざまな理由で登校することが困難になっている児童生徒が、学校に籍をおいたまま一時的に通学し、元氣を取り戻して再登校することを目的とする「つつじ学級」があるが、現在の利用状況は。

答 本市の不登校の現状は、平成29年度は小学校29名、中学校37名、令和3年度においては小学校29名、中学校64名となっており、直近の5年間の傾向としては、中学校が増加している。

学校においては、家庭訪問や電話連絡により、本人や保護者とのつながりを大切にしており、児童生徒および保護者に対して、スクールカウンセラーとの面談等も行っている。

つつじ学級は、吉野川市交流センター2階に設置しており、2名の指導員のもと個別学習、体育活動、体験活動等に取り組んでいる。

通室状況については、通室可能人数は定めておらず、1日あたり平均して6名程度の利用がある。

問

答

中学校の不登校が増加していることなどから、つつじ学級の増設が必要ではないかと思う。休校や閉校となった空き校舎を活用して増設しては。

答 指導員の確保、適正な教育環境の整備、通室距離など勘案し、増設の必要性について検討する。

問 中学校の不登校が増加していることなどから、つつじ学級の増設が必要ではないかと思う。休校や閉校となった空き校舎を活用して増設しては。



つつじ学級が設置されている吉野川市交流センター（川島町）

【その他の質問】

問 向麻山公園山頂崩落についての裁判の現状は。

答 裁判所から被告側が3000万円を支払うとする和解勧告の提示があり、和解が成立した。



あい はら かず なが 相原 一永

問

マイ・タイムラインの普及・啓発は

個人ごとの防災行動計画の重要性について一層の啓発に努めたい

問 全ての市民から災害による犠牲者を出さない対策が必要と考える。自らの洪水リスクを知り避難のタイミングや、どのような避難行動が必要かを日常的に考えるため、マイ・タイムラインを普及・啓発し、マイ・タイムラインシートを作成するようには。

答 自らが考え命を守る避難行動は、被害の軽減に極めて有効であることから、住民の避難行動における避難先や避難の合図、タイミングなどをとりまとめた災害避難カードの作成と合わせて、これまでの各種研修会や防災講座において啓発してきた。

今後は、本市ホームページや広報誌でマイ・タイムラインシートの作成を掲載するなど、個人ごとの防災行動計画の重要性について、一層の啓発に努めたいと考えている。

問 国土交通省のホームページにあるツールを活用して、国土交通省徳島河川事務所の方の協力を得ながら、地域の特性を考えたマイ・タイムライン作成講座を開催し、普及・啓発を図っては。

答 国土交通省をはじめ防災関係機関のホームページでは、シートを作成について分かりやすく解説されている。本市でもこれらの紹介なども含め、市民の方が取り組みやすい情報発信に努める。また、国土交通省と連携し、ワークショップの開催についても検討する。

問

答

問 認知症患者等の見守りに、QRコード付き身元確認シールを活用しては。

答 今後も高齢化が進行し、認知症患者やその疑いがある方が在宅で生活されることが増えるのを想定した場合、徘徊などの問題に対処する有効な施策になり得ることから、導入している市町の事例や実績について研究する。

【その他の質問】

問 孤独・孤立問題解決に向けて、本市としての骨格案を進めていくべきでは。

答 民生委員、社会福祉協議会など関係機関と連携し、現状の枠組みの中で取り組む。

※マイ・タイムライン：個人ごとの防災行動計画。大雨等の災害に備えて、住民一人ひとりが自分のとるべき行動を時系列で整理し、あらかじめ決めることで避難行動の一助とするもの

1

委員会室を紹介します

Introduction

委員会室は、吉野川市役所本館4階にあります。議会運営委員会、常任委員会、特別委員会は基本的に委員会室で開かれます。

委員会室前方には委員の席が設置され、座席は話し合いがしやすいように丸く配置されています。また、後方には提出した議案の説明を行うために説明員として出席する市長や職員の席があり、さらに後方には、記者席や傍聴席が設けられています。

※議会だより（No.71）に、各委員会の詳細な所管や各所属の委員名を掲載しています。



委員席（前方から）



説明員席および傍聴席（後方から）

2

委員会の公開について

Introduction

常任委員会は原則的には公開されており、どなたでも傍聴することができます。傍聴をご希望の方は常任委員会の開催日に吉野川市役所本館4階の議会事務局までお越しください。

その他、傍聴に関する詳しいことは議会事務局までお気軽にお問い合わせください。※委員会室での傍聴は席に限りがあります。



議会の模様をケーブルテレビで視聴できます

本会議および常任委員会は基本的にケーブルテレビで生放送されており、議会に来られない場合もテレビで視聴することができます。ぜひご覧ください。

- 本会議（日本中央テレビ・ケーブルネットおえ）
- 常任委員会（ケーブルネットおえ）



句感よしのがわ

大菊人形・菊花展が、市役所のイベント広場で毎年10月中旬から11月中旬まで行われています。

今年は11月20日まで鮮やかな菊を楽しむことができます。毎年テーマが変わる菊人形や見事な菊の花が展示されています。

鴨島大菊人形の歴史は古く、1925年（大正14年）製糸会社の前で開催されたのが始まりです。その後、藍商の本力ネマンの援助により、現在の日本フネン市民プラザの東で盛大に開催されるようになりました。臨時列車が出るほどの大盛況だったようです。



会場で菊の香りも楽しもう!!

クイズ

□「アトがき」はあつちの言葉は何のことか。

？ 神社(山川町) ひらがなも可



阿波忌部の祖神とされている天日鷲命を阿波開拓の先進地である忌部山の中腹に祭っています。忌部氏は天皇が即位する大嘗祭に鹿服を調達する重責を代々担ってきましたが、南北朝時代に途絶えていました。大正天皇の大嘗祭に577年ぶりに復活し、昭和、平成、令和と忌部神社で製織された鹿服が調達されています。

● 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を呈呈します。

● 応募方法 はがき、またはFAXにクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、吉野川市議会事務局までお送りください。応募の際に議会だよりについての感想や、「チョットひと言」添えてみませんか。

● 応募先 〒776-8611 吉野川市議会事務局
TEL(0883)2212241
FAX(0883)2212242

● 締切日 令和4年12月28日(消印有効)

チョットひと言

★市民プラザによく行くので、ポケットパークでイベントが開催されたらぜひ行きたいです。(後藤田さま)
★夏に渾めぐりしたころを思い出しました。マイナスイオンを求めて！(林さま)
(前回の解答) 「水神」

あとながき

今年の敬老の日は、台風14号の接近により大荒れの天候となりました。直撃を受けた九州地方を中心に、死者や行方不明者がでるなど、多くの災害が発生しました。被害を受けた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

吉野川市においては、強風による倒木や道路の冠水などがありました。各家庭ではどのように対応されたのでしょうか。予想以上の強風に驚かれた方も多いと思います。自然の持つ力の大きさと、日頃の備えの大切さを改めて感じました。

新聞記事によると、県内では約7万7000戸が停電したとありました。電力会社の情報では、吉野川市内の約4400戸で停電が発生したそうです。もし停電したらと日頃から考えておくことも、大事な備えの一つだと感じました。



【編集委員】
委員長 岡田 光男
副委員長 近久 寛
委員 中西 渉
枝澤 幹太
谷田 憲一
北川 麦